

地域活性化への取組み

◎地元特産品を特典とする金融商品の販売

農業と地域・利用者をつなぐ金融サービスの提供に加え、地域貢献力の取組みとして、JAと農産物の魅力の幅広い発信と、地元農産物の消費拡大につなげるため、地元特産品を特典とする金融商品「味来（みらい）くん」を販売しています。

平成28年度より販売を開始し、初年度第1弾の定期貯金は1億9400万円、29年度第2弾は2億6900万円と増加しました。農産物の生産振興につながるJAらしさが好評だったことから、商品の一部を変更し、第3弾を企画しました。

同定期貯金は、新規100万円以上の預金を一口とし、100万円はJAの加工施設で作ったお菓子詰め合わせや、ときわにんにくなどのAコースから1品、200万円は青森県産ブランド米「青天の霹靂（へきれき）」5キロ、りんご「サンふじ」5キロなどのBコースから1品、またはAコースから2品を選ぶことができます。Bコースの新たな特典に、8月20日に販売した特産桃を使ったリキュール「津軽にごり酒」を加えました。

JAでは、他の金融機関と違うJAならではの特徴を出して、地域の利用者に幅広くPRしながらJAファンを増やし、地域の活性化へつなげていきます。



変わるJA 広がる地域のきずな

変わるJA 広がる地域のきずな

監修＝広島大学
助教 小林元

Q、准組合員はJAでどんな役割を担っているの？

A、准組合員も、食と農を支える協同組合の仲間です。

JAは農業者を中心とする協同組合です。しかし、地域の農業を豊かにするためには、農業者だけではなく、消費者や地域のみなさんの理解も重要です。食と農をつなぐことで、地域と地域の農業をより豊かにするために、JAには准組合員の仕組みがあります。

また、准組合員になることで、JAが行っている様々なくらしに関わる事業を利用することができます。Aコープ店舗やガソリンスタンド、高齢者福祉事業など地域の課題を解決するJAの総合事業は、地域に必要不可欠な事業と言えるでしょう。

JAグループでは、准組合員を農業や地域を支える重要な仲間と位置付けています。具体的には、「農業振興の応援団」、さらには正組合員とともに「地域振興の主人公」として位置付けるように提起しています。今後は、准組合員の声を積極的にJA運営に反映する仕組みを用意することも重要です。地域のみなで地域を支える仕組みを育みましょう。



農業振興の応援団 地域振興の主人公



ほかにも

貯金・貸出などの信用事業、生命・建物・車などの共済事業、病院・旅行・ガソリンスタンド…など

耕そう、大地と地域の未来。